

別紙様式 2

授業科目名	知覚・認知心理学 A	大学名	作新学院大学
科目区分	VU連携講座	開講時期	前期 (4月11日～8月1日)
学部・学科等	心理コミュニケーション学科	曜日	金曜日
必修・選択区分	選択	時限 (時間)	2時限 (10時40分～12時10分)
標準対象年次	2年・3年	授業形態	講義
単位数	2単位	授業会場	
担当教員名	松田 真幸		
電話番号 (代表者名)	028-667-7111	e-mail アドレス	matsudam@sakushin-u.ac.jp
オフィスアワー	木曜3時限目 (予定)。e-mailによる質問や相談にも応じます。		
授業の概要	<p>&lt;授業の目標及びねらい&gt;          本授業では知覚心理学の内容を扱います。環境に対して適応的に行動していくためには、環境や自己の状況を知らなければなりません。このような働きやその過程を知覚といいます。知覚心理学は、人の感覚・知覚等の機序及びその障害をテーマとする心理学の基礎領域であり、人間の知覚の特性やそのメカニズムを明らかにしようとしています。知覚研究や人間の知覚に関する基礎知識を習得することにより、人間の知覚について理解し、それにかかわる自分の考えを説明できるようになることを本授業の到達目標とします。</p> <p>&lt;前提とする知識・経験&gt;          特に必要としません。</p> <p>&lt;授業の具体的な進め方&gt;          はじめに知覚の生理学的基礎、研究方法および一般特性について解説します。続いて視覚 (視知覚) を中心に、おもに知覚内容という点から区別して、何が問題とされ、どのようなことが明らかにされてきたのかを解説していきます。</p> <p>&lt;授業計画&gt;          第1週 はじめに：感覚とは、知覚とは、認知とは          第2週 知覚の生理学的基礎：視覚系および聴覚系の構造と機能          第3週 知覚研究の方法1：精神物理学的測定法          第4週 知覚研究の方法2：精神物理学的測定法による研究の成果          第5週 知覚の一般特性：知覚の対象性、知覚のズレ、知覚の基準          第6週 明るさの知覚1：比視感度曲線、加重、同化と対比          第7週 明るさの知覚2：視覚系の空間的特性、視覚系の時間的特性          第8週 色の知覚：表色系、混色、色覚説          第9週 形の知覚：図と地の分化、図の群化、主観的輪郭、透明視、静止網膜像          第10週 空間の知覚：奥行き知覚の手がかり、視空間の異方性          第11週 運動の知覚1：実際運動、速さと運動軌跡の知覚          第12週 運動の知覚2：仮現運動、誘導運動、自動運動、運動残効          第13週 音と音声の知覚：物理的属性と心理的属性、マスキング、母音と子音の知覚          第14週 知覚の障害：視覚障害、聴覚障害          第15週 まとめとデモンストレーション</p> <p>定期試験          &lt;教科書・参考書・教材と入手方法&gt;          教科書は使用しません。授業の内容に関する資料を配布します。          &lt;成績評価法&gt;          定期試験 (60%)、各回の小テスト (20%) と課題 (20%) を基本にして評価します。          10回以上の出席がないと評価対象外となり、単位の取得はできません。          &lt;教員からのメッセージ&gt;          日常的にも授業内容を意識しながら「外の世界を見る」とよいでしょう。</p>		